

2021年度

(公財)愛知大学教育研究支援財団 奨励賞授与式

後援会奨励賞 同窓会奨励賞 資格試験合格者奨励賞

愛知大学 公務員試験合格者奨励賞授与式



日時 | 2022年3月5日(土)11:00~12:30

場所 | 車道校舎 本館3階 コンベンションホール

※2021年度奨励賞授与式は、新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置期間となり、また、感染力の非常に強いオミクロン株への懸念から、安全面を配慮し、中止いたしました。

プログラム

- | | |
|---------------------------------------|-----------------------------|
| 一、開式 | 一、愛知大学公務員試験合格者奨励賞
試験結果報告 |
| 一、挨拶 (公財)愛知大学教育研究支援財団 理事長 加藤満憲 | 愛知大学 キャリア支援センター
委員長 吉川 剛 |
| 一、挨拶 愛知大学 学長 川井伸一 | 奨励賞授与 愛知大学 学長 川井伸一 |
| 一、後援会奨励賞
選考結果報告 愛知大学学生部 委員長 富村 圭 | 一、受賞者代表謝辞 |
| 奨励賞授与 愛知大学後援会 会長 武山卓史 | 公務員試験合格者奨励賞受賞者 代表 |
| 一、同窓会奨励賞
選考結果報告 愛知大学同窓会 広報委員長 小濱 恵 | 後援会奨励賞受賞者 代表 |
| 奨励賞授与 愛知大学同窓会 会長 土井義昭 | 同窓会奨励賞受賞者 代表 |
| 一、クラブ愛知賞
選考結果報告及び授与 クラブ愛知 会長 服部晋吾 | 一、閉式 |

2021年度 同窓会奨励賞受賞者一覧

最優秀賞

個人

杉浦 冬唯氏 | 愛知大学経済学部4年

2021年度 全日本学生柔道体重別選手権大会 66kg級 準優勝

推薦趣旨 決して恵まれた競技環境にない状況の中で、ひたむきに努力を重ね、常に前向きかつ意欲的に自己研鑽に励んできた結果、全日本学生大会の場で大きく躍進した。

東海地区の大学の選手が決勝戦まで進むのは、およそ50年振りの快挙として取り上げられ、愛知大学の名を全国に広めたことに加え、全国の地方大学の選手が目指すべき星となった。このことにより、愛知大学柔道部OB会を中心とした多くの同窓生に、強い関心を与え、大学への帰属意識を高めることに寄与した。

また、競技成績に限らず学業面も手を抜かず、所属する経済学部における累積GPAは2.65と高い水準を維持し、文武両道の実践を図ってチームメイト、とりわけ後輩に範を示した。メリハリのある学生生活は、柔道部が目指すべき姿を体現したと言える。

また、11月まで務めた主将としては、コロナ禍の影響で思うような活動が出来ない苦しい時期に、試行錯誤と工夫を重ねて乗り越え、率先垂範の意識を強くもって団体戦でも全日本学生大会で関東の強豪大学に勝利するなどチームをまとめあげた。

大学卒業後も柔道を続け、所属先の支援を受けて今後の更なる飛躍が期待できる逸材である。同窓生としての活躍が期待できるとともに、愛知大学の名を広く知らしめてくれる存在になると料する。



優秀賞

個人

安田 悠馬氏 | 愛知大学地域政策学部4年

東北楽天ゴールデンイーグルスからドラフト2位指名

推薦趣旨 安田悠馬は、コロナ禍の状況にも関わらず身体作りを徹底したことで、強靱な肉体を手に入れました。それによって、バッティング飛距離は延び、投げては150km/hを計測し二塁送球も安定することができました。通算本塁打は32本で130m超えも多くありました。また、誰からも愛されるキャラクターと真面目さで、プロのスカウトからも好印象でした。そして、東北楽天ゴールデンイーグルスからドラフト2位指名を受けました。本学から直接ドラフト（支配下）指名をされたのは初めてであり快挙です。よって、同窓会の奨励賞受賞候補者として強く推薦いたします。



平野 等氏 | 昭和42年法経学部卒

柔道を通じた国際協力関係の構築と柔道競技の普及・発展並びに本学柔道部への多大なる尽力

推薦趣旨 候補者は、講道館柔道七段を取得し、現在、愛知県柔道連盟副会長、名古屋柔道協会副会長、名東柔道会代表の要職にあり、柔道の普及と発展に大きく寄与している。

本学在学中においては、柔道部員として東海地区では団体優勝の常連で、また全国大会にも出場し、大学柔道界に本学の名声を広めた。

本学卒業後においては、愛知県警察に奉職すると共に、警察柔道選手として、愛知県警察が中部管区警察大会で優勝、全国警察大会で相応な成績を収めるなど、警察柔道界においても愛知大学出身者として栄誉を高めている。

また青年海外協力隊柔道隊員として、アフリカ・ザンビア共和国に2年間赴任し、現在では想像できないほど過酷な環境の下、創意工夫を凝らして、一から柔道の普及と指導に取り組んだ結果、現在までに至る同国の柔道の基礎と土台を作り、日本柔道の評価を高めた。また派遣中においては、同国大統領からの信頼も厚く、帰国後において大統領の来日時には、候補者は総理官邸に招かれて懇談するなど、日本国と同国との強固な友好関係を構築し、多大な国際貢献をしている。なお、総理官邸での懇談の様子やザンビアでの活動状況は、新聞紙上で度々取り上げられ、社会的に大きな反響を呼んだ。

現在の本学においては、柔道部の師範として、およそ15年間に渡って学生指導に尽力している。もっとも師範に就任する前となる愛知県警察在職時から、柔道部OBとして後輩への指導を続けているところではある。柔道に対する情熱は人一倍強く、柔道指導における柔軟な発想と地道な取り組みは、柔道部が躍進するには欠かせない存在で、本学柔道部が、過去、東海地区で絶対王者で全国でも名を轟かせていた黄金期の一人でもあることから、古豪復活を果たすべく熱の入った指導を続けている。



李 春利氏 | 愛知大学経済学部教授

エズラ・ヴォーゲル氏との共同研究と日中親交に寄与

推薦趣旨 李春利教授とヴォーゲル先生との知己・交友関係は15年前2004年のハーバード大学招聘研究員として、2018年にはハーバード上級研究員として、ヴォーゲル先生主催のセミナー・イベントに参加し、長い師弟関係にありました。こんな深い関係から今回・2019年の愛知大学に於ける講演会の開催が可能になりました。

李春利教授は、「エズラ・ヴォーゲル先生の最後の授業」の講演に関する内容を著作・編集・発刊し、「日中関係史」・ヴォーゲル先生の日中関係の歴史を検証・顕彰しました。

600年代には、遣隋使を派遣し また遣唐使を派遣し 同時に遣日使の派遣もあり、中国から多くを学んだ時代でした。

日清戦争・日露戦争の頃には、多くの留学生が日本に学び、1978年には鄧小平氏が来日され、新幹線に乗車、松下電器などを見学し、中国への工場進出が叶い、改革開放の上、経済発展がスタートし、中国が日本から多くを学ぶ時代でした。

教育面では、近衛篤磨公を高く評価し、1901 年上海に創立した東亜同文書院（のち大学）の欧米との通商交渉上の人材養成にも高い評価をしている。戦後創立された愛知大学を東亜同文書院の後継校として評価し、「現代中国学部」の設置も日本唯一の学部として、日中の学術交流に貢献していることも評価しています。

ヴォーゲル先生と直接の関係はないが、1971年に、第31回世界卓球選手権が名古屋市で開催され、国交のない中国からも選手を招聘し、その時米国チームとの交流があり、大会後米国チームを中国に招待、米中の和解が生まれ周恩来首相の歓迎を受けた。

このピンポン外交を巡り、中国外務省が大会参加中の中国代表団に対し、愛知大学編纂の「中日大辞典」を暗号に使い、米国代表チームに訪中を要請するよう指示していたことが、ピンポン外交から50年目の節目に、新事実として浮かび上がった。

李春利教授が2019年、ハーバード大フェアバンク中国研究センターの、中国代表団秘書・江培柱氏の「江柱文存」からピンポン外交の経緯をしり、メディアの知る処となりました。

また李春利教授はヴォーゲル先生のご指摘に加え、同著作に於いて、今泉潤太郎名誉教授の東亜同文書院の根津初代院長が関わった『興学要旨』『立教綱領』の紹介。愛知大学の設立趣意書の掲載など、また愛知大学国際中国学研究センター（ICCS）のあゆみなどを掲載し、愛知大学の誇れる編集をされたことも、李春利教授の功績になります。



功労賞

個人

吉田 敏氏 | 昭和45年文学部卒

同窓会活動「読書会」に20年間継続された地道な貢献

推薦趣旨 埼玉支部の「読書会」は2002年8月、東京、埼玉両支部の有志により第1回を実施、その後同じく関東4支部の千葉支部の有志も参加し今日まで毎月第3水曜日（原則）に開催しておりその間途切れることなく継続され現在に至っています。本年1月で開催233回を迎えました。昨年12月に洪沢栄一著「論語と算盤」を読み終わり、現在は25冊目「養生訓」貝原益軒（松田道雄訳）を読み進め始めたところです。

20年という長期間、一つの行事として取り組みを継続するのは中々根気強さと事前準備など地道な努力が必要で非常に素晴らしく誇れることだと思います。

そしてここまで、継続出来ているのは、ひとえに吉田敏（45年文卒）さんの尽力のおかげです。吉田さんは先輩同窓生の意思を引継ぎ約20年、会の運営、本の選定から進行等熱意をもって読書会の会員を引っ張ってきています。また、大変な勉強家であるため、会員も必然的に引きずられ、研究熱心となって知識の習得向上や活発な意見交換ができ更に健康維持にも貢献しています。

彼ならこれからも末永く会の継続を担ってってくれるものと確信しこれまでの貢献と今後の期待を込めて埼玉支部吉田敏さんを奨励賞に推薦いたします。



木下 貴雄氏 | 平成4年法経学部卒

日中友好交流・中国残留孤児（帰国者）生活支援・在住外国人高齢者介護支援

推薦趣旨 1982年に来日。1985年から中国残留孤児肉親捜し及びその後の生活自立支援、公墓の建立管理を継続しています。また、1990年代から2000年代にかけて、エスニックメディアとしてこの地唯一の日中二ヶ国語新聞「東海国際新聞」の編集長を務め、日中両国の生活や文化、経済を紙面に伝えています。また、日中身体障害者の友好交流「北京の旅」を企画し、日本の障がい者とともに、中国国立障がい者中心（センター）を民間人として初めて訪問し交流を行いました。

2021年6月末現在、日本に暮らす外国人高齢者は19万人で、在住外国人総数の6.6%を占めています。近年では外国人高齢者は年々増加し、永住化・定住化の傾向が強まることを考慮すると、今後その割合がさらに急増していくことが予想されます。こうした現状のなか、外国人高齢者が日本での老後の暮らしにおいて、年金や医療、介護サービスを日本人と同じように利用できていないのが現状です。また、安心して老後の生活を送るために必要な身近に母語で相談できる体制、母国の文化・生活や歴史的背景を理解、母語を通じる介護施設やスタッフといった環境が整っていない現実もあります。

こうした外国人高齢者どのようにコミュニケーションを図りながら、年金や医療、介護など、老後の暮らしに必要な情報を過不足なく提供し、適切なサポートをしていくのが大きな課題です。特に制度の面においては、多くの制度は日本人を対象にしているため、外国人高齢者がその制度の枠からこぼれ落ちたり、対応が外国人高齢者に適していなかったりといった現実問題を根本から改善しなければ、外国人高齢者が日本人と同様に適切なサービスを受けることは到底不可能だと思われます。

こうした状況のなかにおいて、2014年度から、外国人高齢者がこの日本で日本人と同じように安心して幸せな老後生活を送れるように、中国帰国高齢者をはじめとする外国人高齢者への介護支援の取り組みに挑戦し、外国人当事者をはじめ、支援団体や福祉機関、介護施設、地域社会を巻き込み、試行錯誤しながらもあきらめることなく、活動の実践を継続しています。

この活動によって、外国人高齢者における高齢化や介護、終活の問題は少しずつ社会に認識されるようになり、関心が高まりつつあり、多文化共生社会における外国人高齢者問題の解決推進に少しでも貢献して行きたいと思っています。



優秀賞

団 体

ためひろ

為廣ゼミナール「シンメトリー」 | 愛知大学経営学部3年

名古屋マーケティング・インカレ優勝

推薦趣旨 名古屋マーケティング・インカレは2006年から毎年開催されている、名古屋近隣大学のマーケティング研究を行なうゼミナールが参加する研究発表大会で、学生が大学を越えて交流をもち、研究を深めあうことを目的としています。

2021年度は第15回大会が開催され、6大学（愛知大学、愛知学院大学、愛知淑徳大学、名城大学、名古屋学院大学、愛知工業大学）8ゼミナールの学生（約150名、31チーム）が参加した。

為廣ゼミでは、毎年、数名のチームに分かれて名古屋マーケティング・インカレに参加しているが、2021年度はこのうちの1チームが最優秀賞（1位）に選ばれた。

このため、優秀奨励賞の対象者として推薦する。

優勝チームの概要は以下の通り。

チーム名：シンメトリー

研究テーマ：「企業は広告型CMと非広告型CMをどのように選択しているのか」

メンバー：

19m3010 東郷 あいみ

19m3115 村山 香帆

19m3147 島谷 海璃

19m3268 平田 直

19m3270 久住 奈穂

これらの活動による地域貢献を評価し、奨励賞に推薦します。



クラブ愛知賞

団 体

エコビジネス研究会 (ecoB・G) |

ペットボトルキャップ回収

推薦趣旨 エコビジネス研究会は、ペットボトルキャップを回収し、世界の子どもたちにワクチンを贈る活動をしています。

2013年に発足後、名古屋キャンパス内での回収の他、近隣小学校や近隣住民の方々にも、ご寄付頂きながら、ペットボトルキャップを回収しています。

名古屋キャンパス内では、多くの学生が目にするよう、各階のゴミ箱の上に回収箱を設置し、ペットボトルを捨てる際に、キャップも回収できるようにしています。

ペットボトルキャップの回収は、隔週1回または、月1回行います。回収箱が各階に設置されていることもあり、回収には、半日近くかかります。重く、大変な作業ですが、部員が一丸となり、活動に取り組んでいます。

集まったペットボトルキャップは、リサイクル業者（エコポリス/名古屋市西区）へ持込み、そこから「認定 NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会」に寄付されます。

回収個数が30万個に到達した2015年には、中日新聞に掲載いただきました。その後、2016年52万個、2017年56万個と、前年度の回収個数を大幅に上回り、3年連続で、中日新聞に掲載いただきました。その後、コロナ禍もあり、回収個数は減少傾向にありましたが、地域の方々の協力や学生の地道な活動の成果により、2021年には、44万個のペットボトルキャップを回収し、4年振りに、四度、中日新聞に掲載いただきました。

長年、この活動を継続していることは、ボランティア活動の鏡とも言えるものであり、大変立派な功績であると思います。彼らの活動は、「クラブ愛知賞」の趣旨に、十分に相応しいものとして、ここに、強く推薦いたします。



●同窓会資格試験合格者奨励賞

司法試験



廣浦 真澄

2019 年度修了



六鹿 竜輝

2020 年度修了

公認会計士試験



魚住 知加

経営学部 4 年

司法書士試験



伊藤 義一

1980年3月卒業



佐橋 貴光

1994年3月卒業



片桐 隆司

2001年3月卒業

税理士試験



長谷川 友梨

2019年3月卒業



西川 将典

2021年3月卒業

学生教育活動顕彰（後援会奨励賞、同窓会奨励賞、クラブ愛知賞）

概要

愛知大学関係者（教職員、在学生等）および愛知大学の卒業生が、社会・文化・学術・芸術・スポーツ・社会貢献などの分野において活躍し、一定以上の成果をおさめた個人および団体に対し、その栄誉を称え、一層の励みとすることを目的に顕彰する。

給付金額

（後援会奨励賞）	（同窓会奨励賞）	（クラブ愛知賞）
① 最優秀奨励賞：100,000円	① 最優秀賞：100,000円	100,000円
② 優秀奨励賞：50,000円	② 優秀賞：50,000円	
③ 奨励賞：30,000円	③ 功労賞：30,000円	

* 個人には給付金額相当の記念品を贈呈する。

申請時期

1月末まで

（学術・文化の部）

① 最優秀奨励賞：

全国的な学術・文化活動並びに大会で特に優秀と認められ、愛知大学の栄誉を高めた個人及び団体

② 優秀奨励賞：

中部、東海地区およびそれに準じた地区大会で優秀と認められ、愛知大学の栄誉を高めた個人及び団体

③ 奨励賞：

上記以外の活動、大会で優秀と認められた個人及び団体

（スポーツの部）

出願資格

	① 最優秀奨励賞	② 優秀奨励賞	③ 奨励賞
国際・全日本大会（予選あり）	優勝、準優勝、3位	4位～8位	出場者
国際・全日本大会（予選なし）	優勝	準優勝、3位	4位～8位
中部・東海地区大会及びそれに準ずる大会		優勝	準優勝
その他の大会			優勝
マネージャー等			所属部の発展に貢献した者（卒業年次生）

（社会貢献の部）

① クラブ愛知賞：

愛知大学に在学する学生や学生達で構成する団体で、顕著な社会貢献活動が認められた個人及び団体

必要書類

奨励賞推薦書

決定方法

後援会奨励賞は、愛知大学の教職員で構成される選考委員会（学生部委員会または運動部長協議会）にて選考し、愛知大学教育研修支援財団に出願された書類をもとに本財団の選考委員会で審査を行い、決定する。

同窓会奨励賞は、愛知大学同窓会より推薦のあった候補者を本財団の選考委員会で審査を行い、決定する。

同窓会資格試験合格者奨励賞

概要

愛知大学教育研究支援財団が決めた資格試験（司法試験、公認会計士試験、弁理士試験、国家公務員総合職試験、司法書士試験、税理士試験）に合格した者に対して表彰し記念品を贈呈する。

金額

30,000円相当の記念品

出願資格

愛知大学（大学院、学部、短大）に在学中または卒業した者で、当該の資格試験に今年度もしくは前年度中に合格した者

必要書類

- ① 資格試験奨励賞申請書
- ② 当該の資格試験に合格したことを証明する書類（写し）
- ③ 在学証明書または卒業（修了）証明書

決定方法

出願された書類をもとに、愛知大学教育研究支援財団での審査を経て決定する。